

made in すかがわを発信



since 2010

平成22年度から認定し、合計28社72製品に

商工労政課 ☎ (88)9142

脳活動計測装置



脳の血流量変化を計測し、スマホやタブレットで手軽にいつでもどこでも脳活動が計測でき、健康や学習に役立てることができます。家庭用向けと企業・大学の研究用向けの2種類を用意しています。

アルファ電子株式会社 (大桑原字日向128)
医療用機器完成品組立、電気機器完成品組立、検査業務、電子部品組立・こん包出荷業務請負

器具用電子ブザー



生産中止となったパナソニック製ブザーとの互換性があり、新規製作・改造することなく、そのまま置き換えが可能です。パナソニック製の同等品と比較して、軽量で省エネ性に優れています。

デバイス販売テクノ株式会社 (台30)
各種自動制御機器並びに電装品、電子応用機器の設計・製造・販売

市では、地域産業の振興と発展に寄与することを目的に、「市工業製品認定制度」を設けています。市内に事業所のある企業が製造する工業製品を認定、公表し、広く情報発信することで、製品の販路開拓などを側面から支援しています。

ブレンダー パワーミックス YE-BL18B

MB-BL22の後継機種。400mlと200mlのボトルを付属し、シーンによって使い分けが可能。新鮮な果実や野菜を丸ごと使い、フレッシュスムージーやフローズンカクテルを楽しめます。



山本電気株式会社 (和田道116) 小型モーター、家電製品の製造

クックマスター旬彩Pro YE-CM17B

クックマスター旬彩の後継機種。容器内にかくはん用の羽根を搭載し、3種の煮込みモードをはじめ、発酵モード、温泉玉子モードなど全8種のモードを搭載したことで、調理の幅が増えました。



胚芽ごはん YE-HG18A

精米後の米ぬかから、胚芽のみを抽出する胚芽抽出器。胚芽にはビタミンBやビタミンEが豊富で、胚芽をお米に混ぜて炊飯することで、栄養を摂取できる製品です。



除雪作業にご協力を

市では、積雪が10センチメートル以上で、引き続き降雪が予想されるときは、交通量が多い幹線道路、学校や病院周辺の主要な市道の除雪を行います。

降雪状況により作業時間が大きく変わるため、ご理解をお願いします。

地域ぐるみで安全に

- ▼路上駐車や道路に雪を出すことは、除雪作業の遅れや交通事故の原因になるのでやめましょう。
- ▼除雪車は、車両の通行に必要な最低幅員を確保するため、道路脇へ雪をかき分けず。住宅の出入り口に寄せられた雪の処理は、皆さんで行ってください。
- ▼除雪車が進入困難な道路・歩道の除雪は、地域の皆さんのご協力をお願いします。
- ▼降雪時は、時間にゆとりを持って、安全運転を心掛けてください。

問い合わせ

- ▼市道 道路河川課
- ▼県道、国道 118号・294号 須賀川土木事務所 ☎ (75)3196
- ▼道路河川課 ☎ (88)9148



平成30年度水道事業決算

持続的・安定的な健全経営で

安全・安心な水をお届けします

経営課 ☎ (63)7118

約2億円の純利益

9月市議会定例会で、平成30年度水道事業会計の決算が認定されました。総収益17億1314万円に対して、総費用15億31万円、差し引き2億1283万円が純利益になりました。

この利益は、今後の水道施設の整備や借入金返済に充てます。

損益計算書(表1) 1年間にどれだけの利益または損失が生じたかを表したものです。

収益の部「給水収益」は、水道料金による収入で、水道事業の主な財源です。

貸借対照表(表2) バランスシートとも呼ばれ、年度末の財政状態を示したものです。

事業運営で得た財産の「資産」、事業運営のために必要とした借入金などの「負債」、事業運営における元手を

複式簿記で財務管理

表1 損益計算書

収益の部		費用の部	
営業収益	14億9,618万円	営業費用	14億 182万円
給水収益	14億4,464万円	営業外費用	9,849万円
受託工事収益	1,811万円		
その他営業収益	3,343万円	費用合計	15億 31万円
営業外収益	2億1,696万円	純利益	2億1,283万円
合計	17億1,314万円	合計	17億1,314万円

表2 貸借対照表

資産の部		負債の部	
固定資産	183億 572万円	固定負債	65億4,496万円
有形固定資産	182億9,734万円	流動負債	11億5,458万円
無形固定資産	838万円	繰延収益	36億1,622万円
流動資産	29億 943万円	負債合計	113億1,576万円
現金預金	27億5,732万円	資本の部	
未収金	9,618万円	資本金	88億2,557万円
貯蔵品	2,794万円	剰余金	10億7,382万円
前払費用	9万円	資本剰余金	2億3,171万円
前払金	2,790万円	利益剰余金	8億4,211万円
		資本合計	98億9,939万円
資産合計	212億1,515万円	負債・資本合計	212億1,515万円

表3 企業債残高の推移

年度	金額
平成26	49億7,381万円
平成27	51億2,974万円
平成28	54億4,802万円
平成29	56億7,589万円
平成30	63億2,206万円

意味する「資本」で構成されています。企業債(表3) 浄水場の建設や配水管の布設など、水道施設整備のための長期借入金です。

平成30年度は、9億6750万円を新たに借り入れ、年度末の企業債残高は、63億2206万円です。

水道管の冬支度を万全に

凍結を防ぐには

- ▼立ち上がり管が露出している箇所、保温カバーや古毛布などを巻き、ビニールなどでカバーをする。
- ▼冷え込むときや長期間不在になるときは、水抜栓(不凍栓)を操作し、水道管の中の水を抜く。
- ▼水道管に凍結防止用の電熱線が巻いてあるときは、電源を入れておく。

凍結したら

凍結した箇所にはタオルなどを掛け、その上からぬるま湯をゆっくり掛ける。

熱湯を掛けたり直火を当てたりすると、器具や水道管が破損するおそれがあるので、注意してください。

破裂したら

- ①水抜栓(不凍栓)を閉め、漏水を止める。
- ②破裂箇所には布やテープを巻くなどの応急処置をする。
- ③市の指定する「給水装置工事業者」に修理を依頼する。

事業者が分からないときは、水道お客さまセンター ☎ (72)8168 にお問い合わせください。

水道施設課 ☎ (63)7131